

(その三)

工場又は事業場の名称	日本曹達株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
3	1	5	1	5	2	5	3		

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----
--

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
3	1	5	1	5	2	5	3		

(その三)

工場又は事業場の名称	住友化学株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5	2	5	9						

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<p>対策 2</p> <p>当千葉工場の合成ゴムプラントで排出される、n-ヘキサンについて蓄熱燃焼設備の設置工事は平成21年5月末に完成しました。</p>
<p>対策 3</p> <p>① 当千葉工場の高圧ポリエチレンのベレットサイロから排出される酢酸ビニルについて、サイロの排出バント配管をボイラーの燃焼空気に接続して酢酸ビニルを燃焼させている。平成19年10月に工事が完成し、平成20年2月より処理を開始した。</p> <p>②高圧ポリエチレン工場の酢酸ビニルタンクのバントラインをフレアーラインに接続して焼却する工事が平成24年2月に完成して、3月から使用開始した。</p> <p>③高圧ポリエチレン工場のエチレン大気放出の削減（フレアーラインに接続して焼却）平成23年10月にフレアーラインに接続ノズルの設置が完了した。</p>

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5	2	5	9						

(その三)

工場又は事業場の名称	三井化学株式会社 市原工場
------------	------------------

**(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策**

**ア 計画年度に実施する対策の内容**

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5 1	5 2	5 3	5 4	5 5					

その他 (19, 29, 39, 49, 59, 99) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

**イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容**

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2 3	3 1	3 2	3 4	5 1	5 2	5 3	5 4	5 5	

(その四)

工場又は事業場の名称	三井化学株式会社 市原工場
------------	------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策  
(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度	
	平成	12年度
使用量 (kg/年度) (1億キロกรัมを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	5	3 × 10 <sup>9</sup>
排出等の量 (kg/年度)	3200000	0
処理回収率 (%)	100	

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)

	0
--	---

備考

- 1 この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。  
{ (使用量 - 排出等の量) / 使用量 } × 100

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10								
2	3	3	1	3	4	5	1	5	2	5	3	5	4				

その他(19、29、39、49、59、99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。


備考 この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社三井E&Sホールディングス 千葉事業場
------------	----------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1	2	1	9	2	2	5	4		

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策2について
建造船居住区内(屋内)で使用する塗料の一部を水性塗料へ切替え
油性塗料についてもVOC発生量の少ない塗料への切替え、導入
※ 国際海事機関による船舶建造のルール変更により、平成24年以降の建造船は塗装基準の強化(塗膜厚が従来の1.4倍)により、塗装面積あたりの塗料の使用量は増加している。
対策
建造船の塗装面積に占める割合の多いバラストタンクについては、国際ルールに合わせて塗膜厚の検査が厳しくなった。塗膜厚不良で再施工を減らすため、塗り重ねた色で塗膜厚が分かる塗料に切替え、再施工を削減した。
船底部などに使用する油性塗料についても、低VOC塗料を導入する事で、VOC発生量を削減した。

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1	2	1	9	2	2	5	4		





(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社プライムポリマー 姉崎工場
------------	----------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度				
	平成12年度				
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	7	2	×10	0	8
排出等の量 (kg/年度)	3	3	0	0	0
処理回収率 (%)	100				

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)				
0				

備考

- 1 この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。  
 $[(\text{使用量} - \text{排出等の量}) / \text{使用量}] \times 100$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
5	3								

その他 (19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。


備考 この項の提出は任意であること。



(その三)

工場又は事業場の名称	BASF出光株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5	4	5	5						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

BASF出光株式会社 千葉工場では、基準年度以前から、直接的な燃焼処理や触媒を使った接触酸化により、揮発性有機化合物を炭酸ガスと水蒸気に変え、大気中への排出抑制に努めている。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5	4	5	5						

(その四)

工場又は事業場の名称	BASF出光株式会社 千葉工場
------------	--------------------

### 3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

#### (1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度			
	平成12年度			
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	2	8	0	0
	× 10			
排出等の量 (kg/年度)	7.1			
処理回収率 (%)	100.			

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数 (基)	0
---	---

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2 (1) の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2 (1) の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。  

$$\left( \frac{\text{使用量} - \text{排出等の量}}{\text{使用量}} \right) \times 100$$

#### (2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
5	4	5	5						

その他 (19, 29, 39, 49, 59, 99) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----

備考 この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	佐藤産業株式会社 成東工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
1 2	2 1	2 3							

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

備考 3 (2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
1 2	2 1	2 3							

(その三)

工場又は事業場の名称	コスモ石油株式会社 千葉製油所
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
4 1	5 2	5 9							

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

1. 対策1として原油、揮発油（製品ガソリン、中間ガソリン、ナフサ等）、JET燃料油のタンクは全て浮き屋根式あるいは内部浮き屋根式であり、VOC対策は本条例の基準年度以前に全て完了しており、これらのVOC対策済タンクの維持管理を確実に実施する。
2. 対策2の第1陸上出荷場（ローリー出荷）及び第2陸上出荷場（タンク貨車出荷）における揮発油の積み込み時に発生するVOC対策として、VOC回収装置（吸収溶剤灯油）を既に設置（第1出荷：昭和63年、第2出荷：平成2年）しており、現在はこれを維持・管理している。
3. 対策3のその他として、VOC回収装置でのVOC回収量を少しでも上げる為に、夏期には当該設備に冷却散水を行いVOC排出抑制に取り組んでいる。

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
4 1	5 2	5 9							

(その四)

工場又は事業場の名称	コスモ石油株式会社 千葉製油所
------------	--------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策  
 (1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度				
	平成12年度				
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	9	7	×	10	0.9
排出等の量 (kg/年度)	3	9	0	0	0
処理回収率 (%)	100				

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)	
	53

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。  

$$\{ (使用量 - 排出等の量) / 使用量 \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
4	1	5	2	5	9				

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策1：原油、半製品、製品の揮発性の高い油種の貯蔵タンクは、全て浮き屋根式あるいは内部浮き屋根式タンクを使用しており、現在、これらの維持・管理を継続している。
対策2：陸上出荷場（第1出荷場：ローリー出荷、第2出荷場：タンク貨車出荷）において、揮発油の積み込み（出荷）時に発生するVOCを回収すべくVOC回収装置を既に設置しており、現在も、これら設備の維持・管理を継続している。
対策3：対策2を少しでも改善する為、夏期においてはVOC回収装置への冷却散水を行いVOC排出抑制に努めている。

備考 この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	大洋塩ビ株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(i) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2	9	3	1	5	1	5	9		

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<p>【対策 1】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安定操業により現状を維持する。</li> </ul>
<p>【対策 4】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>廃液処理塔を設置し、スチームストリッピングにより排水中の塩ビモノマーを回収する。</li> </ul>
<p>イの【対策 5】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タンク開放点検前に水張りを実施し、塩ビモノマーガスを回収しました。</li> <li>タンク開放点検前に窒素で置換し、塩ビモノマーガスを回収しました。</li> </ul>

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(ii) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2	9	3	1	5	1	5	9	9	9

(その三)

工場又は事業場の名称	東洋スチレン株式会社 五井工場
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2	9	3	1						

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<p>【対策 1】について</p> <p>生産工程からの発生（揮散）を減少させる。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
---

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2	9	3	1						